

平成24年度第1回北杜市図書館協議会会議録

- (1) 会議名：平成24年度第1回北杜市図書館協議会
- (2) 開催日時：平成24年5月24日（木）午後1時30分～午後3時30分
- (3) 開催場所：北杜市金田一春彦記念図書館 SVホール
- (4) 出席者： 協議委員 新海 博恭／櫻井 八州彦／下條 順子／田中 壽弘
藤森 勇夫／平出 香織／齊木 久壽
事務局 教育長・教育次長・小林 弘（図書館長） 篠原 美恵・長谷川 誠・小野 あずさ（総務担当）／浅川 さつき（明野図書館）
鈴木 真由美（すたま森の図書館）／長屋 恵（たかね図書館）
細田 恵子（ながさか図書館）／高野 裕子（金田一春彦記念図書館）／進藤 由美子（小淵沢図書館）／齊木 紀恵子（ライブラリーはくしゅう）／小池 法子（むかわ図書館）
坂本 美里（須玉小学校図書館司書）
- (5) 議題：
 - (1) 平成23年度事業報告について
 - (2) 平成24年度事業計画について
 - (3) 北杜市図書館システムの更新について
 - (4) 子ども読書計画推進計画の策定について
 - (5) 各図書館からの近況報告について
 - (6) その他
- (6) 公開・非公開の別：公開
- (7) 該当なし
- (8) 傍聴人の数：0人
- (9) 審議内容
 - 1) 平成23年度事業報告について
*事務局より資料についての説明

委員：雑誌の貸出冊数に週刊誌は含むのか。最新号の貸出はできるのか。
事務局：週刊誌も貸出しできるので、貸出冊数に含む。最新号は貸出不可。
 - 2) 平成24年度事業計画について
*事務局より資料についての説明
・当初、プロポーザル方式で図書館システム事業者を決定する予定だったが、
財政課との話し合いの結果、入札で行うこととなった。

・新むかわ図書館の学習スペースについて、生涯学習課と協議し、使用していない場合は、会議室を学習室として利用させてもらえることになった。

委員：やまね便りの発行回数が減った理由は？

事務局：やまね便り編集委員で話し合い、内容を充実させて多くの方々に手に取ってもらえるような紙面にするため、年4回の発行とした。

配布方法について、全戸配布も検討したが、今までどおり区長回覧とし、その分、配布先を増やす等して多くの方々に読んでもらえるようにしたい。

次長：設置場所をPRし、情報を発信していくことが必要。

委員：やまね便り41号に掲載してある「利用者のこえ」（各図書館のロビーを交流の場として利用してはどうかという意見）は、共感するところがある。

次長：ホールと図書館といった併設施設が多い。しっかり色分けをしていく必要がある。図書館ごとの特色を示していくことが必要。

3) 北杜市図書館システムの更新について

＊事務局より説明

委員：学校図書館のネットワークとは、すべての学校図書館なのか。

事務局：すべての学校図書館をネットワーク化するが、まずは、北杜市8図書館のシステムを入れ替え、学校は順次入れ替えていく。

4) 子ども読書活動推進計画の策定について

＊事務局より説明

委員：子どもが家庭で本を読む機会が少なくなっている。上からの指示といった感のある内容ではいけない。内容を十分考える必要がある。

学校図書館司書が動きやすい内容の計画にしてほしい。

学校司書：北杜市は全校に司書を配置している。建物があるだけではダメで、その点、北杜市は恵まれている。

須玉小学校では、平成23年度は270名の児童がおり、図書館の蔵書は8600冊で、貸出冊数は3万8千冊（1日平均210冊貸出）

<小学校の取り組み>

- ・週1回1時間（国語の時間）を読書の時間に充てているが、高学年になるとその時間の確保が難しくなってくる。
- ・須玉小学校では、週2回10分間の朝読を実施。
- ・保護者ボランティアの読み聞かせの会では、10数名で読み聞かせを

行っている。

- ・夏休みに親子読書を実施し、本を読んで絵を描くという取り組みを行っている。

- ・公共図書館から小学校へ読み聞かせに来てもらっている。

委員：平成25年には長坂が1つの小学校に統合される。そうすると、児童数が増えることで、学校図書館の利用条件も変わってくる。子どもが使いやすい学校図書館になるようにしてほしい。

委員：子ども＝0～18歳という定義なので、年齢層が広い。すべてをカバーできる計画内容になるのか不安。そこも策定委員会で考慮してほしい。

5) 各図書館からの近況報告について

※各館より事業報告・事業計画等を別紙にて報告。以下補足。

明野：総合会館のスペースを活用して、図書を利用してもらえるように検討している。

すたま：外への働きかけをして、利用者を増やしていきたい。

ながさか：ブックトークを小中学校へ行っている。

長坂の小学校の統合を受け、公共図書館と学校図書館の連絡会の今後の方向を検討していく。

金田一：平成24年度より、乳児向けおはなし会「いずみにこここタイム」を実施。

小淵沢：子どもたちの利用が多く、騒がしくなる場合もあるので、今後の対応を考えていく。

はくしゅう：6月の西村繁男氏の講座は市民講座とタイアップ。

年何回か、時間帯を考えつつ、少しにぎやかになってもよい時間を設け、利用方法を検討していく予定。

むかわ：むかわ図書館活性化会議が積極的に事業を計画してくれるので助かっている。また、児童館と共催で事業を展開している。

次長：生涯学習課とコラボして市民ボランティア団体が講座等をする場合は、講師料が支払われることもあるので、それを活用してもっと図書館を活用してもらえるとよい。

困ったことがあれば、中央図書館を通して生涯学習課に相談してほしい。

6) その他

事務局：5月上旬に、長坂コミュニティの施設利用について、以前から課題になっていた図書館とコミュニティとの対応等について話し合った。

コミュニティ側も、ホール使用者にできるだけ静かに利用してほしい旨を

事前に伝えてくれたり、使用時に注意してくれていたが、限界があるとのこと。図書館側でも、掲示をする等、図書館利用者に注意を促したが、理解してもらえないこともあった。

話し合いの結果、図書館としては、事前にホールの催し物のスケジュールを掲示し、利用者側に利用方法を選択してもらう等の対策をし、コミュニティ施設なので、にぎやかになることを理解してもらい、利用してもらうこととなった。

委員：図書館のトイレの壁が剥がれていたりするので修理してほしい。

次長：施設の修繕があれば中央館に報告してもらい、優先順位をつけて対応する。

(10) 前号に定めるもののほか、審議会等が必要と認める事項：特になし